

平成16年度

決 算 報 告 書

(様式2)

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 横浜国立大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	9,081	9,081	0	
施設整備費補助金	47	47	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付償還時補助金	2	5	3	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	0	0	
自己収入	6,027	5,613	△ 414	
授業料及び入学料及び検定料収入	5,907	5,400	△ 507	(注2)
附属病院収入	0	0	0	
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	120	213	93	(注3)
産学連携等研究収入及び寄付金収入	1,181	1,156	△ 25	(注4)
長期借入金収入	0	0	0	
承継剰余金	0	2	2	(注5)
計	16,338	15,904	△ 434	
支出				
業務費	15,108	14,816	△ 292	
教育研究経費	11,141	10,809	△ 332	(注6)
診療経費	0	0	0	
一般管理費	3,967	4,007	40	(注7)
施設整備費	47	47	0	
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄付金事業費等	1,181	1,160	△ 21	(注8)
長期借入金償還金	2	5	3	(注9)
承継剰余金	0	1	1	(注10)
計	16,338	16,029	△ 309	
収入－支出	0	△ 125	△ 125	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補正予算により3.4百万円の増額となっています。
- (注2) 授業料標準額改定に伴い新入生の前受授業料を徴収しなかったための減額相当分△657百万円、増収分129百万円、入学料の増28百万円、検定料の減△7百万円となっています。
- (注3) 科研費等間接経費が年度計画(中期計画)上産学連携等研究収入に積算されている為間接経費決算額84百万円の増額となっており、年度計画想定外収入が13百万円増額となっています。また、その他年度計画収入減が4百万円減額となっています。
- (注4) 科研費等間接経費84百万円が年度計画(中期計画)上産学連携等研究収入に積算されているが、決算上は雑収入に計上されている為、25百万円の減額となっています。
- (注5) 承継剰余金として追加措置された為、2百万円の増額となっています。
- (注6) 次年度への雇用見送り及び中途退職予定者に係る退職手当の減、費用の削減に伴う減により332百万円減額となっています。
- (注7) 科学研究費補助金の獲得における間接経費の増加等により40百万円の増額となっています。
- (注8) 科研費等間接経費84百万円が年度計画(中期計画)上産学連携等研究支出に積算されているが、決算上は業務費に計上されている為、21百万円の減額となっています。
- (注9) 補正予算により3.4百万円の増額となっています。
- (注10) 承継剰余金として追加措置された為、1百万円の増額となっています。